

オーダーメイドの照明で 世の中を明るく照らす

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンリーワン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



設計から生産まで一貫してできるのが強み

業務内容 特殊品の製造を重視

昭和30年に、「南海商会」として大阪市で創業した。LED（発光ダイオード）照明や一般蛍光灯、白熱灯など照明器具全般の設計から製造・販売のほか、LEDデバイスなどの電子回路の設計・製作まで行い、範囲の広い開発を手がけている。部品や建築金物などの板金加工にも取り組む。

現在の事業構成比は、標準品が30%で試作品が20%。そして顧客の要望に応えた「あつらえ品」とする特殊品が50%と大きなウェイトを占めており、「少量多品種で展開している」と4代目の染谷英太郎社長は話す。取引先は、大手照明器具メーカーから防衛関連、医療関連など多岐にわたる。

強み 規格適合の照明を生産、 安全性を確保

汎用品と変わらない価格で、顧客の要望に応じた照明を生産している。手がける照明器具はいずれも電気用品の安全性を示したPSEやJISに適合しており、他社から委託を受けて生産することもある。月間2,000〜5,000個の生産能力を持つほか、年間100例程度の試作品の製作も請け負っている。

設計から照明の製造までを手がけることで、短納期とコスト競争力、品質の保証を実現している。染谷社長は、「照明器具の商談があれば、その日のうちに結論が出せる」と強調する。

開発力 非磁性体の 照明器具に挑戦

平成29年にMRI（磁気共鳴断層撮影装置）を採用した医療現場などで使用できる、

非磁性体の照明器具を開発した。「医療関連の研究機関から試作の依頼があり、実用新案に至る製品製作を行えた」と染谷社長は話す。

照明器具の筐体（きょうたい）に耐久性のあるステンレスを使用。通常、ステンレスは加工すると磁性を帯びる。だが、独自技術で加工速度を制御し、磁性を抑えた構造にした。まず、ダウンライト型と埋め込み型の2種類で展開する。埋め込み型は、照明器具を設置する天井との一体感が醸成できるなどのメリットがある。

今後の展望 従来と切り口が異なる 製品展開を進める

このほど、同社では定年制を廃止した。染谷社長は「職人が自分の腕ひとつでやっている」ことを尊重しており、熟練した技術を持つベテラン社員が大きな戦力となっているためだ。新人社員採用の際も、ベテラン社員との相性をまず考慮する。「職場の調和をとりながら、事故などが起きないようにしている」との理由もある。

確固とした自社技術を確認しつつあるが、現在の仕事に決して満足していない。最近では海外ブランドの路面店の看板のライティングに採用されるなど、天井に取りつける照明器具と切り口が異なる製品展開を進めている。



平成29年に完成した非磁性体照明



完成検査まで手がける

当社の歴史



昭和30年に大阪市都島区で「南海商会」を立ち上げました。昭和50年に現在地に移転し、平成18年に「英光ライティング」に社名を変更しました。照明の明かりの主流がLEDになり、「ライトコントロール」が可能となったので新しい技術と光で世の中を照らすという情熱と信念を持って事業を行っています。

代表取締役社長 染谷 英太郎さん

<http://www.eikol.co.jp/>

主な事業内容
照明器具の製造・販売

主な取引先(納入先)
照明器具メーカーなど

- 住 所 〒536-0017 大阪市城東区 新喜多東2-5-14
- TEL 06-6967-0080
- FAX 06-6967-1880
- 創業 昭和30年5月
- 設立 昭和43年4月
- 資本金 5,000万円
- 従業員 22名